

父の背中を  
追いかけて始まった

# 「流鏝馬への道」

平成最後の流鏝馬を振り返る

写真提供：石川 徳美



## 悠馬くんの挑戦

7月30日、射手の依頼を受けて、悠馬くんの挑戦は始まりました。目標は父の健一さん。昭和63年の射手として大役を務めた父の姿を見て、家族の後押しもあり、射手の募集に手を挙げました。悠馬くんは、「射手に選ばれたことは嬉しいです。ケガをしないように気を引き締めて頑張ります。」と力強い決意を話してくれました。

9月2日から始まった練習では、落馬も経験。今年は大聖台風の影響もあり、雨で幾度となく練習ができない時期もありました。それでも、一人の小さな若武者は、成長を続けます。悠馬くんの姿に、祖父の美家男さんは、「以前よりも挨拶をたくさんできる様になりました。射手になったことで、しっかりとしないといけないと自覚を持ったのだろう。」と話されました。

本番2日前の10月19日には柏原海岸で潮がけが執り行われました。四十九所神社から海岸へ向かう道中は、射手を応援しようと家から沿道に出て、拍手を送る人々の姿がたくさん見られました。潮がけの神事では、悠馬くんのクラスメイトも駆けつけ、悠馬くんが



潮がけでは神馬も身を清める



潮がけのため柏原海岸へ向かう道中、波野小学校前にて



保存会川野会長と大園さん親子